

令和8年度 総務部いこま考座

〔開催概要〕

と き	8月22日（土）	13時30分～16時30分
ところ	生駒セイセイビル4階 401会議室	
参加人数	25人	
市側出席者	井上部長、猪原参事、福山	
プログラム	・金融リテラシー講座及び特殊詐欺等の現状、手口、対策について ・詐欺電話訓練（博報堂） ・消費者問題スゴロク（奈良女子大学消費者問題研究会「BEACS」）	

〔まとめ〕

特殊詐欺や SNS 型投資・ロマンス詐欺による被害が深刻化する中、市民一人ひとりの金融リテラシーと詐欺への対応力を高めることを目的として「いこま考座」を開催した。講座では、資産形成の基礎や NISA などの制度について学ぶとともに、SNS 型投資詐欺をはじめとする金融トラブルや、生駒市内における特殊詐欺等の被害状況について説明した。また、市・警察・地域団体・大学生等が連携する「ITB（IKOMA TOKUSHUSAGI BOKUMETSU team）」の取組を紹介し、地域全体で被害防止に取り組む重要性について共有した。

AI を活用した詐欺電話訓練では、警察官騙りや還付金詐欺などの電話を参加者自身のスマートフォンで疑似体験することで、実際に詐欺電話を受けた際の心理状態や対応の難しさを体感してもらう機会となった。

さらに、奈良女子大学消費者問題研究会「BEACS」による消費者問題スゴロクを実施した。参加者は、ゲームを通じて消費者トラブルの事例や対処方法について楽しみながら学び、身近な消費生活に潜む問題について考える機会となった。

金融に関する知識を得るだけでなく、詐欺電話訓練や消費者問題スゴロクを通じて実際の詐欺の手口や消費者トラブルを学び、地域や世代を越えて意見交換を行うことで、参加者が「自分自身も被害に遭う可能性がある」と捉え、日頃から備えることの大切さを考える機会となった。

〔主なご意見等〕

- ・消費者問題スゴロクは楽しみながら消費者トラブルについて学ぶことができ、身近な問題として考えるきっかけになった。
- ・詐欺電話は高齢者だけの問題ではなく、幅広い世代が注意する必要があると感じた。
- ・資産形成について学ぶ際には、利益や制度だけでなく、詐欺や金融トラブルについて併せて学ぶことが重要である。
- ・詐欺の手口を実際に体験する形式や、スゴロクを用いた学習は分かりやすく、家族や知人にも今回学んだ内容を伝えたい。
- ・警察や行政だけでなく、地域団体、大学生、事業者など、さまざまな主体が連携して啓発を行うことが被害防止につながると感じた。

